

2006年
5月16日
火曜日

日刊工業新聞

日本精密電子

300mmウエハー用リテーナリング

藤沢（神奈川）に新工場

10月稼働 月産2000枚に倍増

【横浜】日本精密電子（横浜市泉区、一住連努社長、045・805・3371）は、神奈川県藤沢市に、ウエハーを押さえて研磨加工しやすくする部品であるリテーナリングの工場を建設する。10月に稼働し、300ミリのウエハー用のリテーナリングの生産能力を現在の月1000枚程度から倍増させる。納期も従来の半分程度の1週間に短縮する。投資額は約5億円。

工場の敷地面積は約660平方メートル。建物は2階建てで、延べ床面積は約600平方メートル。5軸のマシニングセンター（MC）や3次元測定機などを導入する。部品や装置

を洗浄するクリンルームも設ける。当初は従業員10人程度で生産に当たる。リテーナリングはウエハーの研磨装置で使う部品。研磨する際、ウエハーが外に飛び出さないように押さえる。今回、新工場が増産するリテーナリングは表面をあらかじめ鏡面加工したもの。ならし運転の時間を短縮できるため、装置の稼働率

がアップする。今後、需要が増えるとみて工場新設に踏み切った。通常はリテーナリングを新たに装置に取り付けた場合、装置のならし運転をしてリテーナリングの表面を鏡面に近い状態に磨く。ならし運転には1・5時間ほどかかるうえ、ダミーのウエハーや研磨剤などに費用がかかっていた。

◀ トップページに戻る